

## クリーンドライ（高速埋込タイプ） お手入れ・動作確認方法について

※本紙は TYC600 型（発売：2014 年 2 月～）の取扱説明書及び施工説明書を抜粋して作成しております。  
その他の高速埋込タイプについては、品番ご確認のうえ、取扱説明書及び施工説明書をご確認ください。

以下の手順に従って商品の清掃及び動作確認実施のうえ、ご使用いただけますようお願いいたします。

# お手入れ

 <b>警告</b>	 <b>禁止</b>	引火性のあるものを近づけて使用しない (灯油、ガソリン、シンナー、スプレー缶など) 爆発や火災の原因になります。
		お手入れのときは、商品に水をかけない 感電の原因になります。
	 <b>必ず実行</b>	お手入れのときは、電源スイッチを「切」にする 不意に作動したり感電の原因になります。

※お手入れが終わったあと、フィルターが付いているのを確認して電源スイッチを「入」にしてください。

## お願い

- ・酸性やアルカリ性の洗剤、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。  
割れの原因になります。
- ・クレンザー、ナイロンたわし、乾いた布などは使用しないでください。  
傷の原因になります。

**トイレ用洗剤  
使用禁止**



手順	内容
1	<p><b>本体のお手入れ</b></p> <p>●本体が汚れたら、水でぬらした柔らかい布を十分に絞ってふいてください。傷つきの原因になります。</p> <p>汚れがひどい場合は、中性洗剤をしみこませた柔らかい布でふき、その後、水ぶきしてください。</p>  <p><b>乾いた布 使用禁止</b></p>

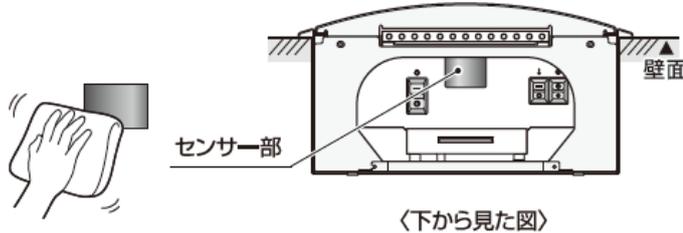
センサー部のお手入れ

- センサー部の汚れは、感知不良や誤動作を引き起こす原因になります。定期的に水でぬらした柔らかい布を十分に絞ってふいてください。

感知不良や誤動作の原因になります。

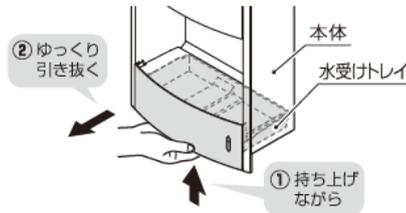
**トイレ用洗剤  
使用禁止**

2



水受けトレイ・水受け部のお手入れ

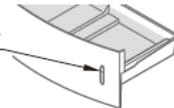
- 水受けトレイを確実につかんで水平にゆっくり引き抜き、本体から外してください。



- 水受けトレイを引き抜く際は、確実につかんで水平に引き抜いてください。水のたまった水受けトレイが落下したり、中の水がこぼれる原因になります。

- FULL (満水)ラインをこえる前に、水を捨ててください。FULL (満水)ラインをこえると中の水がこぼれます。

FULL (満水)ライン  
FULL (満水)ラインを  
こえる前に水を捨てて  
ください。



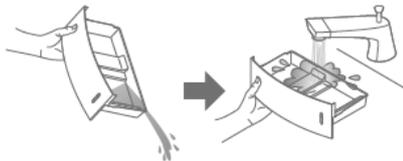
- 水受けトレイ内の水を捨ててください。水受けトレイが汚れている場合は、柔らかいスポンジなどで水洗いを行ってください。汚れやにおいが落ちにくいときは漂白してください。ご使用される漂白剤の「使用上の注意」をよく読んで上で、必ず「使用上の注意」を守ってご使用ください。

- 水受けトレイに洗剤を溜めたままで商品内に放置しないでください。故障の原因になります。

**洗剤溜め  
使用禁止**



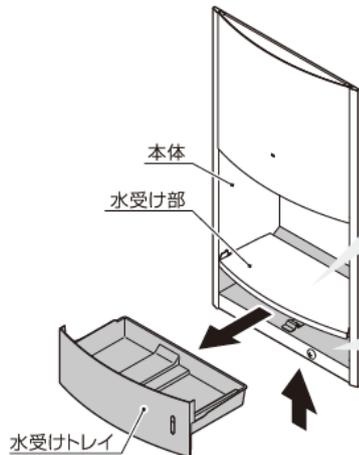
3



**水洗い  
OK**

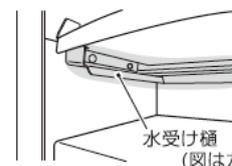
- 水受け部奥の隙間・水受け部内側の汚れは、水でぬらした柔らかい布を十分に絞ってふいてください。

水受け部の汚れは臭いの原因となりますので定期的に掃除してください。



水受け部奥の隙間に  
たまった汚れをふき取って  
ください。

汚れがひどいときは、うすめた  
中性洗剤を含ませた柔らかい  
布でふき取ってください。  
その後水ぶきしてください。



水受け部内側の水受け樋  
(左右・奥)にたまった汚れを  
ふき取ってください。

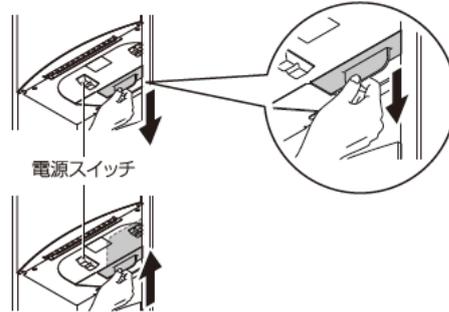
特に汚れがひどいときは、  
ブラシなどで汚れを落とした  
後、水ぶきしてください。

- 水受けトレイを元の位置にクリック感がするまで確実に取り付けてください。

フィルターのお手入れ

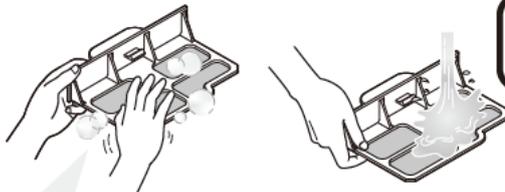
フィルターの着脱の仕方

- 1 フィルターの取り外し・電源スイッチ「切」  
フィルター中央の爪を下方に引っ張り、  
フィルターを取り外してください。
- 2 フィルターの取り付け・電源スイッチ「入」  
フィルターを元の位置に確実に  
取り付けてください。  
フィルターはクリック感がする  
まで確実に入れてください。



4

- フィルターが汚れてきたら、表面のみやほこりを取り除いてください。  
フィルターの汚れは風量不足などの性能低下や異音、故障、においの  
原因になります。定期的に掃除してください。



水洗い  
OK

軽くはたくか、掃除機でほこりを取り除いてください。  
汚れがひどいときは、水洗いして、完全に乾かしてから使用してください。  
べたつきなどの汚れが気になるときは、うすめた中性洗剤をとかした  
ぬるま湯に浸して、柔らかいスポンジなどで汚れを落とし、よくすすいで  
完全に乾かしてください。

- 酸性やアルカリ性の洗剤、ベンジン、  
シンナーなどは使用しないでください。  
割れの原因になります。

トイレ用洗剤  
使用禁止



- 完全に乾かしてから使用してください。  
濡れたまま取り付けると故障の  
原因になります。

濡れ使用  
禁止



フィルター部背面のお手入れ

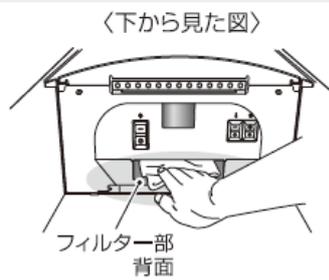
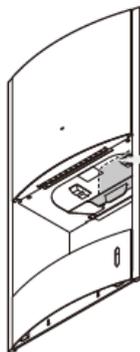
- フィルターのお手入れで、フィルターケースを取り外した際に本体(フィルター部背面)が汚れていたなら、水でぬら  
した柔らかい布を十分に絞ってふいてください。フィルター部背面の汚れは臭いの原因になります。

洗剤使用  
禁止

- 酸性やアルカリ性の洗剤、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。  
割れの原因になります。
- クレンザー、ナイロンたわしなどは使用しないでください。  
傷の原因になります。



5

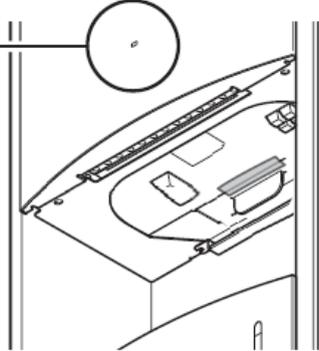


フィルターを取り外しフィルター部背面に  
たまった汚れをふき取ってください。

特に汚れがひどいときは、ブラシなどで汚れを  
落とした後、水拭きしてください。

【アルコールでの拭き清掃について】

- 商品にヒビが入る等の不具合のおそれがありますので、ご使用はお控えください。

手順	内容
6	<p style="text-align: center;"><b>動作確認</b></p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-right: 20px;"> <p><b>電源LED</b> 電源スイッチを入れた後、 電源LEDの点灯を確認すること</p> </div>  </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.電源の投入 <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内電源のブレーカーを「入」にしてください。</li> </ul> </li> <li>2.電源スイッチの確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・電源スイッチを入れてください。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;"> <b>電源LEDが点灯しているか確認してください。</b> </div> </li> <li>3.動作の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹き出しノズルの下に手を差し出し、風が吹き出すことを確認してください。</li> </ul> </li> <li>4.風量切替スイッチ、ヒーター入切スイッチの確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・風量切替スイッチおよびヒーター入切スイッチを操作し、モードが切替わっているか確認してください。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <b>お願い</b> 切替操作は、運転が完全に停止してから行ってください。 </div> </li> </ol>

## お客様専用窓口



商品のお問い合わせは

TOTO(株)お客様相談室へ

TEL ☎ 0120-03-1010

FAX ☎ 0120-09-1010

受付時間：9:00～17:00（夏期休暇・年末年始を除く）